

年末までに改革骨組完成へ

上海自贸区主任の艾副市长と会見

当協会訪中代表団を率いて上海市を訪れた河野洋平会長は4月18日、艾宝俊副市长(中国(上海)自由貿易試験区(以下、上海自贸区)主任を兼任)と会見した。艾主任は14年版ネガティブリストについて、13年版をベースに各企業、専門家、商会の意見を聴取し、EU上海商会、米国上海商会、在上海日本商工クラブとも十分に討論し再調整した上で、今年上期に公布する予定だと述べた。分野の基本的改革の骨組みについては年末にかけての完成を目指すとした。

河野会長は、昨年9月末に発足した上海自由貿易試験区について日本企業は非常に関心をもっているが、情報量が十分でないとし、いつ、どのような内容で詳細が発表されるかについて質問した。

艾主任は情報公開について、上海市商務委員会の下部組織である上海市外国投資促進センターが世界各国の駐上海機構に情報提供を行っている。6分野18業種のうち、外資系銀行の営業許可証関連を除き公表している。市は関係部門は欧米との関係で交流が多かったが、相対的に日本との交流は多くなかったとの情報不足は否めないとした。日中両政府の関係悪化の影響が影を落としかたかった。

艾主任は試験区の投資関

連の重点について挙げて次のとおり挙げた。①投資分野の改革: ネガティブリストを使い、「投資分野の開放」「政府の透明性の向上」「経済分野のコントロール改善」を目標とする。②貿易における監督管理の改革: 通関や検査の簡素化、貨物の出入りの加速化、政府の管理制度の更なる改善。③金融改革: 金利の市場化、外貨の自由な両替、国際貿易の元建決済により中国の為替制度の改革を目指す。④経済管理体制の改革: 特に外国企業の参入管理。試験区における各制度の改革で公平な市場競争の実現、企業財産の保護、業務の透明性を高める。⑤法の改善: 全国人民代表大会、國務院、各関係部門、市政府など各段階の法的ステップを改革することで、投資の一層の簡素化、貿易の自由化を促進する。

ロードマップについては、全人代の決定により3年間で新たな政策を全て公布する。上期までに各分野の細則や関連政策を同時に公布する予定だが、技術的な問題で一部の分野に遅れが出る可能性があるとした。税関の改革では従来の全量検査から企業による自主的な検査申し込みを考慮中とした。



談笑する河野会長と艾副市长 (右)

河野会長は試験区での諸手続きの簡素化はビジネスセクターとしては歓迎するところであり、この実験区が成功すれば試験区モデルを全国に拡大するかの問いに、艾副市长は成功実例を全国に広めることが目標だとした。工商行政登録は従来の払込制度から引受制度へと改革、同制度が試験区で成功したのを受け、上期に全国に拡大する。

さらに艾副市长は、試験区の改革は中国共産党と国家公務員の強い意志であり十分な自信をもって技術的な問題が多々あるが、この半年で中央政府と上海市政府の20を超える部門と委員会がともに検討しながら制度改革を推進している。未経験の改革分野もあるため、いかに改革するかが大変難しいとして、大きな困難があると指摘し、世界各国の実験と成功の経験を学ぶ必要があると感していることを述べた。

何力貴州副省长と会談 貴安新区と5つの100PJで協力提案

河野会長一行は4月16日、何力貴州省人民政府副省長と会見した。また、当協会はカウンターパートの貴州国際貿易促進委員会と友好協力協定書を締結した。

何副省长は、「中日関係が谷底にあるなか長官政目での物事をみることという政治家の認識から、団を派遣し中日間の友好関係を守ろうと呼びかけたことに深い感銘を覚えた」と語り、代表団派遣を高く評価した。

河野会長は今回の訪問を通じて、天然資源に恵まれた貴州省の魅力を増強したいと意欲を示した。同時に「新たな友人を探して来永」として来永たいと強調した。

貴州省から 貴州貿促会と友好協力協定書を締結



貴州・日本经贸合作交流座談

は、人力、物力、財力を集中させた貴安新区建設と5つの100プロジェクト(100の高機能のモデル町、100の産業パーク、100の観光勝地モデル町、100の観光景勝地など)で日本側と協力したなどの提案があった。貴安新区は国家級の新区で、団員が仰天したというほどの規模で、内陸開放型の経済新区、生態文明のモデル地区としての建設を目指す。

「貴州省の発展」は2012年に國務院から国家戦略として打ち出された。